

未来技術等を活用した心が通う持続可能なまちづくり
コロナ禍の移住
VRを活用した空き家案内

第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性や市の取り組み施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は、「コロナ禍の移住」VRを活用した空き家案内についてお伝えします。



SDGs未来都市



上) 窓口へ来た移住希望者へ事前内覧 右下) 空き家内覧の画面でカメラマークの部屋全てを閲覧可能
左下) お試し住宅4号に入居した酒井さん家族

住みやすいまちを目指して

人口減少や高齢化などを背景に空き家が増加し、社会問題にまで発展しています。一方で自然豊かなまちで暮らしたい、子育てしたいと地方移住を検討する人が増加しており、市では東・西舞鶴駅周辺のまちなかエリアと加佐、池内、大浦地域など市街化区域外を対象とした空き家情報バンク制度を設置。多くの皆さんの移住につながっています。

また、「居住促進(お試し)住宅」事業では、地域の空き家の改修設計や作業の一部を舞鶴高専の学生が担い、地域の皆さんの協力を得て、空き家を改修し、移住する子育て世帯に貸し出しをしており、産・学・官・民の連携で事業を実施しています。

今後も、空き家の活用法を広げ、空き家を減少させるとともに移住による地域の活性化やまちづくりに取り組みんでいきます。

空き家バンクに家を登録している梅原さん

VRは家の内部の様子が良くわかります。地域になじんで、永住してくれる人に入ってほしいですね。



▲空き家と一緒に農地の案内



▲不動産業者と空き家案内

一度舞鶴を出て感じた地元の良さ

コロナ禍の都会ではマンションの下の駐車場が子ども達の遊び場になっていて、そういうのを見ていると何か違うなと思いました。商業施設もたくさんあって便利でしたが、本当に人が多くて、引っ越すことを考えました。私たちも空き家バンクを見て物件を探していました。VRがあればコロナ禍で直接見学に行けない人も見ることができると、いいですね。都会に住んで戻ってくると、舞鶴の良さに気付きます。朝も鳥の声を聞いて起き、通勤時間が短く家族と過ごす時間が増えました。また、今まで感じませんでした舞鶴公園に青葉山ろく公園、あそびあむなど子どもと遊べる場所が多いなあと感じます。今後は商店街などが、まち歩きを楽しめる場所になるとうれいそうですね。

菅原一輝さん(右)
絢子さん(左)



意見交換の場を増やして舞鶴をアピール

前職の時に転勤で舞鶴に来て、縁があって今も舞鶴に住んでいるので空き家バンクは使っていませんが、VRのシステムは良いと思います。慎重に物事を判断する中で、このシステムは家の現状を見ることができるので、選択するきっかけになるし、今後はオンラインで所有者が説明してくれる仕組みがあっても面白いと思います。

舞鶴は、海が近いのがいいし、魚もおいしいです。また、身内同士のつながりが強く、うまくまとまれば一丸となって全世界にアピールできる場所じゃないかなと思います。ただ、異業種間の交流が少ないので、移住者が新しい風になって、これまで経験してきたことを発信する場があれば、舞鶴を拠点にした起業や、移住者の居場所ができるようになると思います。こうした意見を吸い上げてもらったり、どんどん意見交換の場を増やしてもらえればと思うし、自分でも「舞鶴はええところ」というイベントをしていきたいです。



ENDEAVOR 慎孝水産
代表
松田 慎平さん

コロナ禍での移住の動き
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で社会情勢や私たちの生活は大きく変わりました。
従来の社会生活は制限され、テレワークなどの対面を前提としない働き方や日常生活を営む上での感染対策など、新しい「生活様式」が求められています。その中で、都市部を中心に経済的な豊かさよりも自然や人間的な豊かさを求める人々の地方移住への関心が高まっています。
市でも、海と山に囲まれた豊かな自然と特色ある歴史的建造物など、美しい景観や温かく迎え入れてくれる地域に魅かれ、年々、都市部などからの移住者が増え、昨年度は過去最高の19組38人が移住されました。
市では、移住希望者を積極的に受け入れるため、移住希望者への相談、現地への空き家案内、地域の皆さんとの橋渡

VRで空き家見学
VR(※)はゲームや観光など多種多様な分野への利用が広がっています。市ではウェブ上での空き家情報バンク登録物件の紹介を、VR化して物件の隅々までバーチャル見学できる三次元のシステムを導入しています。空き家情報バンク登録物件をVR化することで、移住希望者が現地にいかなくても、現地にいるような内覧ができるようになり、物件の内容をよく理解し、複数の物件をじっくり比較して考えることができます。
今後、さらに空き家情報バンク登録物件のVR化を進め「ITを活用した心が通う便利で、心豊かな田舎暮らし」を目指していきます。

※VR:VirtualReality(バーチャルリアリティ)の略。コンピューターで作られた三次元空間などを視覚やその他の感覚を通じ現実のものとして知覚させる技術。仮想現実ともいう。